

はねっと 8

仙台市市民活動サポートセンター通信 ばれっと

“ばれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビット」

小さな子も、楽しくアップサイクル&リユースができる仕組みをつくる！

幸せの町 35

すずき ちひろ

代表 鈴木 智尋 さん

鈴木さんは、ママ友2人とともに地域でのリサイクル・リユース活動と子育て世帯の居場所づくりをしています。自分の子どもがお世話になった幼稚園に恩返しがたくて、何か必要なものはないか聞いてみると「保護者から園服などの学用品のお下がりはないかとよく聞かれる」との返答。ニーズがあるのに機会も仕組みもないなら作ろうと「お下がり会」を始めました。また、活動の源には普段から抱いていた「使い捨ては便利だけど、もったいない」「子どもたちの将来のために環境に配慮したい」という環境に対する思いがあり、同じ考えのママ友2人がいてくれたことも支えになりました。お下がり会では、親同士でおしゃべりしたり、子どもたちは遊び始めたりと、ゆるやかな居場所にもなっています。

今年度からは、短くなった鉛筆やクレヨン回収し、「クラブト会」でアクセサリやマールクレヨンにするアップサイクル&リユース活動も始めました。鈴木さんの小学生の子どもが学校で環境問題を学んだものの「実感がなくてよくわからない」とつぶやいたことがきっかけです。子どもにとって身近なもの、子どもでもできることで環境問題に取り組めないかと考えました。活動の中で実施している環境や子育てに関するアンケートで「環境について考えさせたい」と思う親が多いこと、「短くなった鉛筆は捨てるか自宅で保管したまま」というデータも追い風になりました。



お下がり会で、自分の着ていた服を誰かに着てもらえることを知った子どもが「今度これをお下がり会に持っていく」と言い出したり、鉛筆やクレヨンの回収に協力してくれたりする姿に目を細める鈴木さん。「なんで集めるの?それどうなるの?」と関心を持つ子どもに「形を変えて、また使えるようになるんだよ」と伝えます。「小さなアクションでも、やらないより良いはず。この活動を続けて、子どもたちが引き継いでくれたら嬉しい」と未来に思いを馳せます。

さんじゅうご

幸せの町 35

2022年4月に立ち上げました。団体名は、地域を幸せにしたい思いと拠点が幸町であることから「幸せの町」、「再三のご縁がありますように」の願いを込めて「35」としました。サイズアウトしてしまった子ども服や不要になった学用品、絵本、おもちゃなどの「お下がり会」を定期開催。鉛筆クレヨンプロジェクトは、杜の都の市民環境教育・学習推進会議(FEEL Sendai)の令和5年度[環境社会実験]未来プロジェクトin仙台 環境の芽部門に採択されました。協力してくれる幼稚園などに回収箱を設置しています。



Instagram



市民活動団体を紹介「市民活動突撃レポート！」

楽しくつながることで、自分や家族の生活を守る

奇数月の第1土曜日、消費者トラブルや詐欺被害に遭わないための情報や、老後のおひとりさま生活を楽しむための情報を交換し合う「土曜サロン」が開かれています。主催するのは、市民活動団体「りんりん倶楽部」です。消費生活コンサルタントで代表の鈴木レイ子さんが2022年に立ち上げました。鈴木さんは「高齢者が一人で家に引きこもっていると、情報不足や相談する人が近くにいないなどの理由から、自分では気づかず消費者トラブルに陥りがち。日々の生活の中で困っていることや、聞いてみたいことを話すきっかけにサロンを活用して欲しい」と話します。これまで開催した土曜サロンのテーマは多種多様です。終活をテーマにした回では、介護情報をわかりやすくまとめた冊子や、空き家の管理で気をつけたいことなどの情報を、行政から鈴木さんが収集し紹介。他にも、新年の抱負を書く書き初め会や、消費者被害に遭わないためのスマホの上手な使い方教室も行いました。どの回でも、参加者が「実はこんなことがあってね」と、日常で体験した消費者トラブルについて気軽に話せる雰囲気を大切にしています。また、「誰かに相談したいけど専門機関は気が引ける…」という人には、偶数月の第1土曜日に電話で相談にも乗っています。

回を重ねるうちに、独り暮らしの高齢者だけでなく、高齢の親がいる人や、将来に備えて情報を得たい人も参加するように。「シニアになるとどうしても身体や思考が衰えると感じる。つながることで備えてほしい」と、呼びかけています。



▲2023年7月に開催した
スマホの上手な使い方教室の様子



▲消費者トラブルの啓発や相談先に繋げる
ため、毎月発行している「つながる通信」

りんりん倶楽部

●土曜サロン 奇数月の第1土曜日／13:00～14:30

※電話にて事前申込みが必要

●りんりんなんでも電話相談 偶数月の第1土曜日／13:00～15:00

TEL 090-5403-9652



活動を支える、人、モノ、こと「募集して」

誰もが安心して輝ける楽しいアートの場をつくろう！

病気や障がいの有無に関わらず、誰もが自分らしく活躍できる社会を目指すNPO法人ワンダーアートでは、一緒に楽しく活動するボランティアを常時募集中。経験は不問です。

NPO法人ワンダーアート ボランティア募集情報

●アトリエの運営サポート

活動日：金曜日～土曜日 内容：アトリエの準備や片付け補助、制作サポート

●アートの仕事場サポート

活動日：平日 内容：時期により異なります。

例) 病院の子どもたちに贈るアートキットやプログラム案内の封入・発送作業、グッズ制作の補助など

※活動場所は、どちらも仙台市若林区荒町172 第一旭ビル2階

申し込みは
こちら▶



▲子どもから大人まで
自由に制作活動を楽しめるアトリエ

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を
応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 8月9日(水)、23日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の
様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者：特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2023年8月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

